平成27年度

未来の養父市を語る
タウンミーティング

～まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略策定に向けて～

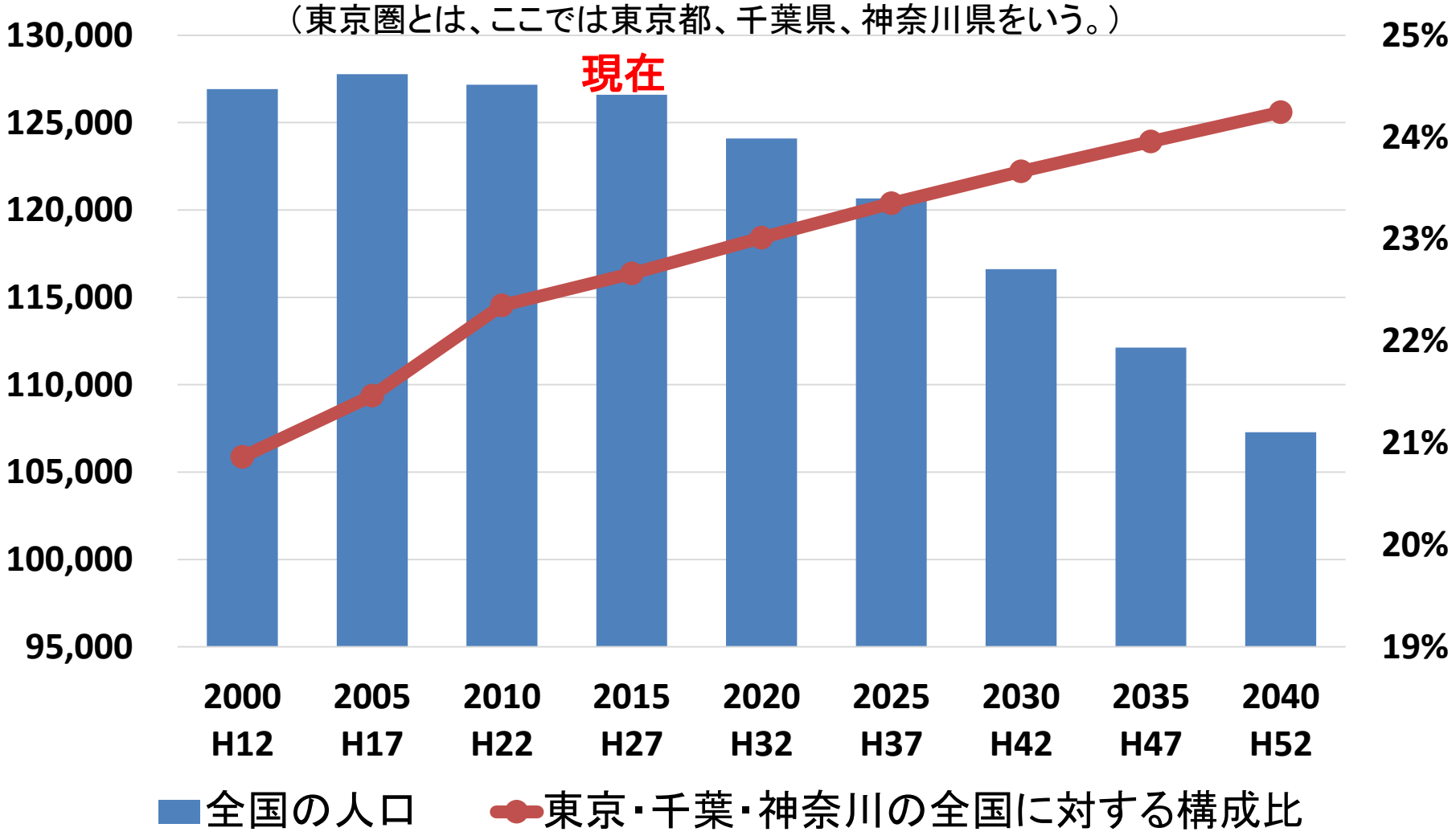
養父市

１．「地方創生」とは
（地方創生の必要性）

人口推移と将来推計（全国）

東京圏への人口集中の動向

（東京圏とは、ここでは東京都、千葉県、神奈川県をいう。）



出典：国勢調査。ただし、2015年以降は社人研による推計人口

過疎地域の現状（全国）

過疎地域とは過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律において、「人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域」です。養父市は全域が過疎地域です。

	関係市町村	全　国	割　合
市町村数	797	1，720	46．3%
人　口 （H22国調）	1，136万人	12，806万人	8．9%
面　積 （H22国調）	22万平方km	38万平方km	58．7%

出典：総務省　H26年4月1日現在

壊死する地方都市

消滅可能性都市896

―523は人口1万人以下―

	若年女性減少率 (%) 収束なし 2010→2040	2040年 若年女性人口 (総人口)		2010年 若年女性人口 (総人口)	
和歌山県橋本市	-53.5	3,451	(45,550)	7,427	(66,361)
和歌山県田辺市	-53.4	3,811	(52,061)	8,179	(79,119)
大阪府柏原市	-53.4	4,486	(51,362)	9,625	(74,773)
奈良県高取町	-53.3	334	(5,034)	715	(7,657)
和歌山県みなべ町	-53.0	610	(8,573)	1,298	(13,470)
和歌山県有田川町	-52.4	1,203	(17,776)	2,525	(27,162)
滋賀県竜王町	-52.3	687	(8,824)	1,439	(12,916)
京都府綾部市	-51.6	1,578	(22,227)	3,260	(35,836)
神戸市須磨区	-51.4	10,249	(126,584)	21,069	(167,475)
兵庫県福崎町	-51.3	1,268	(15,604)	2,604	(19,830)
三重県大台町	-51.3	423	(6,226)	868	(10,416)
京都府久御山町	-51.1	954	(10,101)	1,951	(15,914)
京都府城陽市	-51.0	4,737	(55,907)	9,663	(80,037)

	若年女性減少率 (%) 収束なし 2010→2040	2040年 若年女性人口 (総人口)		2010年 若年女性人口 (総人口)	
和歌山県日高川町	-59.8	365	(6,279)	906	(10,509)
和歌山県有田市	-59.8	1,261	(18,630)	3,134	(30,592)
京都府宮津市	-59.1	619	(10,613)	1,516	(19,948)
兵庫県多可町	-58.9	868	(14,470)	2,112	(23,104)
兵庫県淡路市	-58.7	1,800	(28,251)	4,360	(46,459)
兵庫県篠山市	-58.7	1,807	(28,359)	4,371	(43,263)
和歌山県美浜町	-58.6	322	(5,061)	776	(8,077)
奈良県大淀町	-58.5	853	(12,167)	2,058	(19,176)
兵庫県洲本市	-58.5	1,930	(27,987)	4,654	(47,254)
兵庫県養父市	-58.3	910	(15,840)	2,180	(26,501)
大阪府河南町	-58.1	812	(11,851)	1,938	(17,040)
奈良県天川村	-58.0	27	(581)	65	(1,572)
三重県木曽岬町	-58.0	327	(4,682)	778	(6,855)

出典：中央公論（2014年6月号）

２.「まち・ひと・しごと創生」とは

国が進める「まち・ひと・しごと創生」について

Ⅰ　人口問題に対する基本認識

- **人口減少時代の到来**
  - 人口減少は今後加速度的に進む
  - 人口減少は地方から始まり、都市部へ広がっていく
- **人口減少による消費経済力低下は経済社会に大きな重荷となる**
- **東京圏への人口の集中が、日本全体の人口減少に結びついている**

Ⅱ　今後の基本的視点

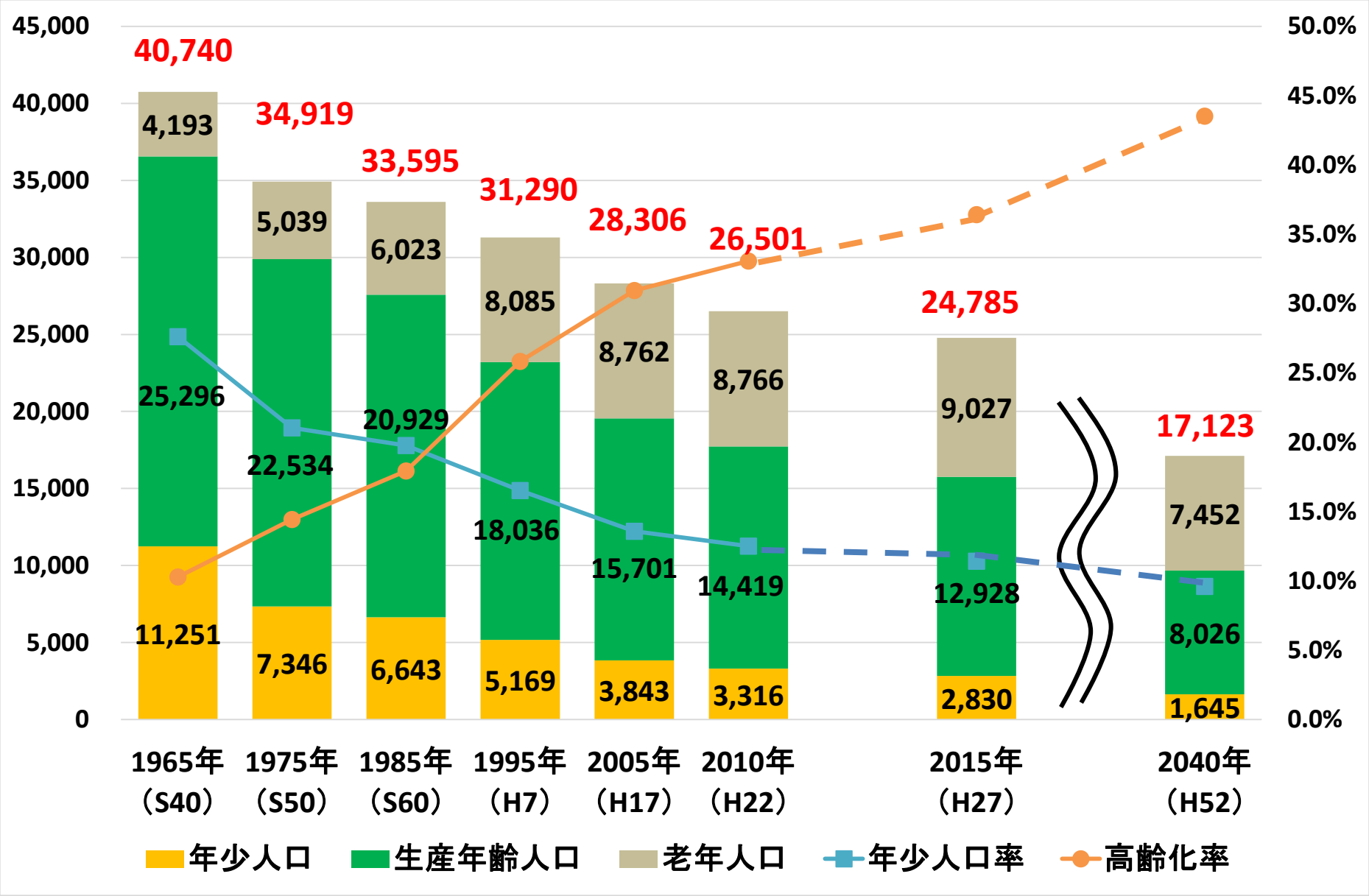
- **3つの基本的視点**
  - 東京一極集中の是正
  - 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
  - 地域の特性に即した地域課題の解決
- **若い世代の結婚・子育ての希望に応える**

Ⅲ　目指すべき将来の方向

- **<u>地方創生</u>がもたらす日本社会の姿**
  - 自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す
  - 地方創生が実現すれば、地方が先行して若返るとともに、地域が若く元気に
  - 地方創生は日本創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていく

３.「総合戦略」とは

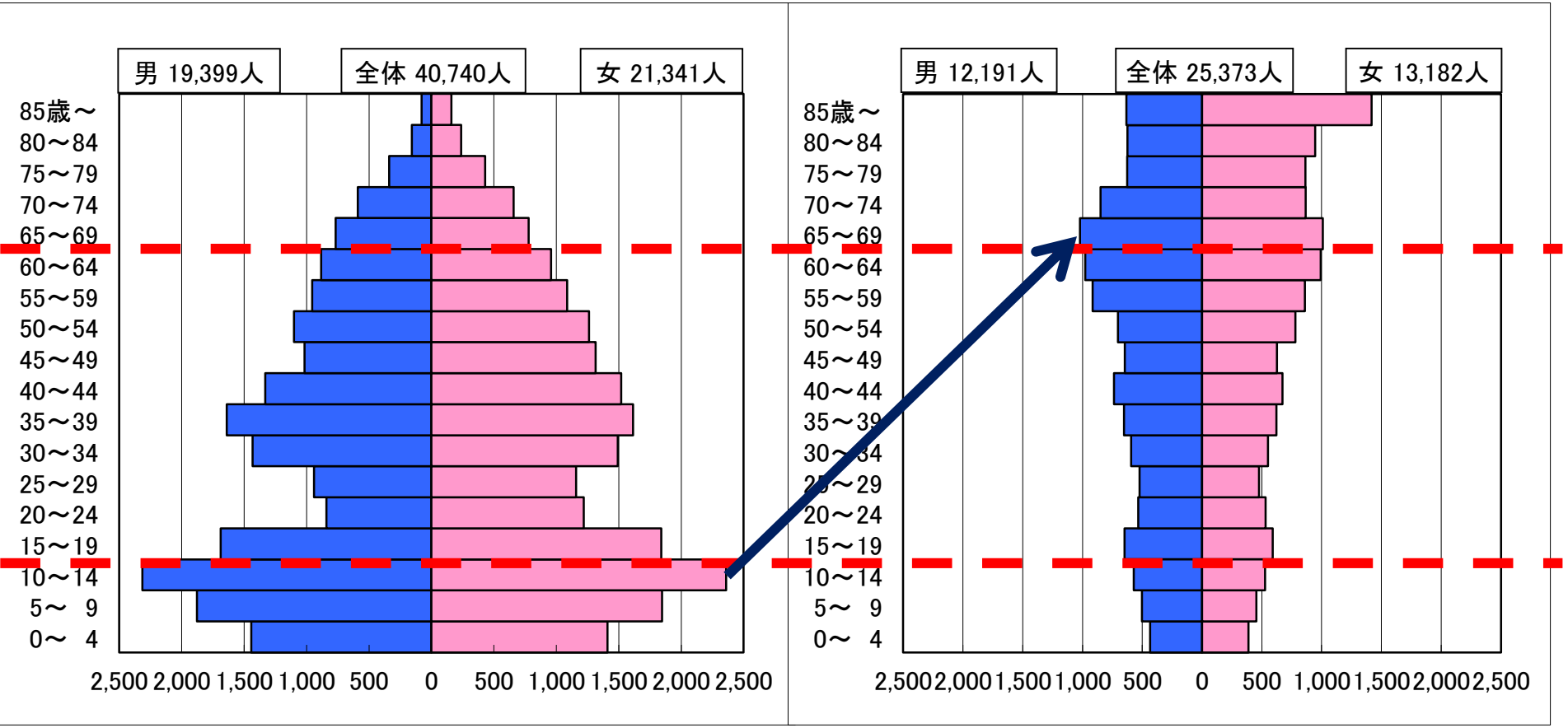
養父市の人口推移と将来推計人口



出典：国勢調査（単位　人）　※2015年、2040年は兵庫県推計人口

養父市の人口推移（人口ピラミッド）

1965年（昭和40年）　→　50年後　→　2015年（平成27年）

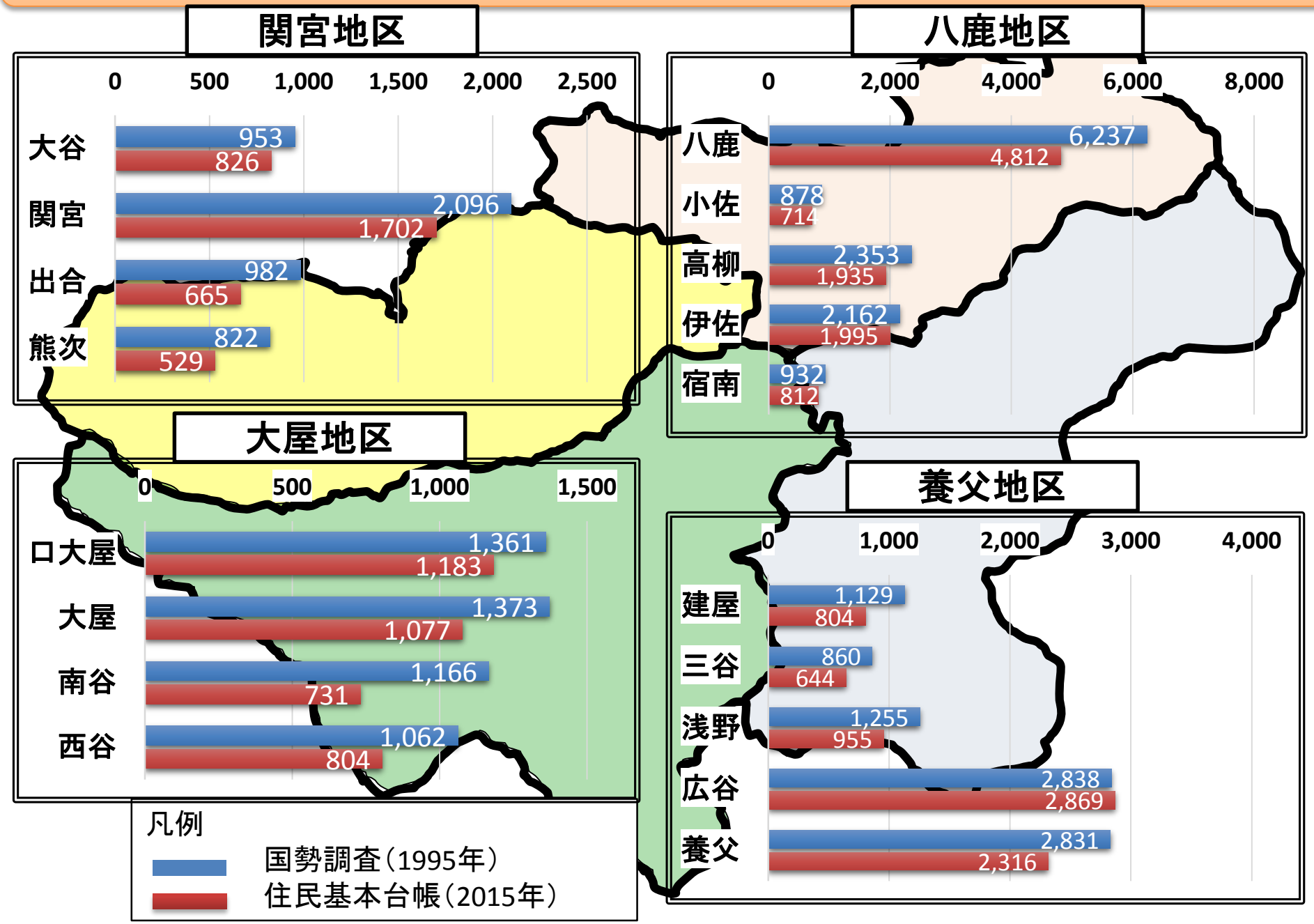


人口	40,740人
年少者人口	11,251人（27.6%）
高齢者人口	4,193人（10.3%）

人口	25,373人
年少者人口	2,878（11.3%）
高齢者人口	8,859（34.9%）

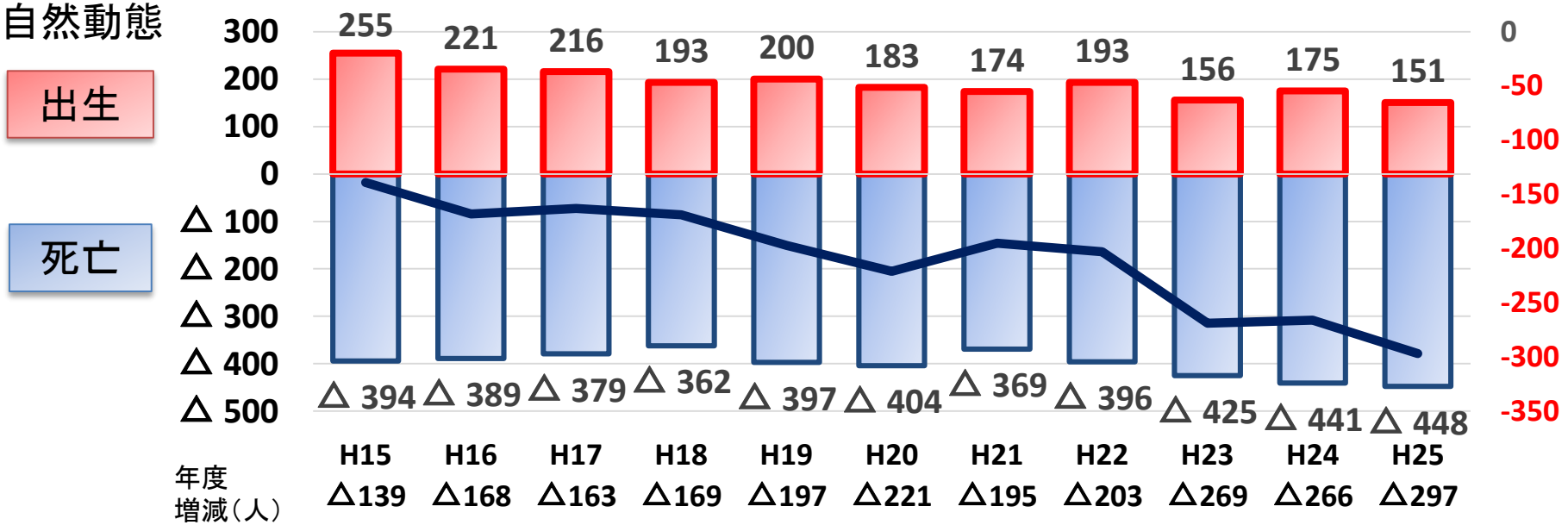
出典：国勢調査（1965年）、住民基本台帳（2015年）

養父市の人口推移（H7→H27）　地区別

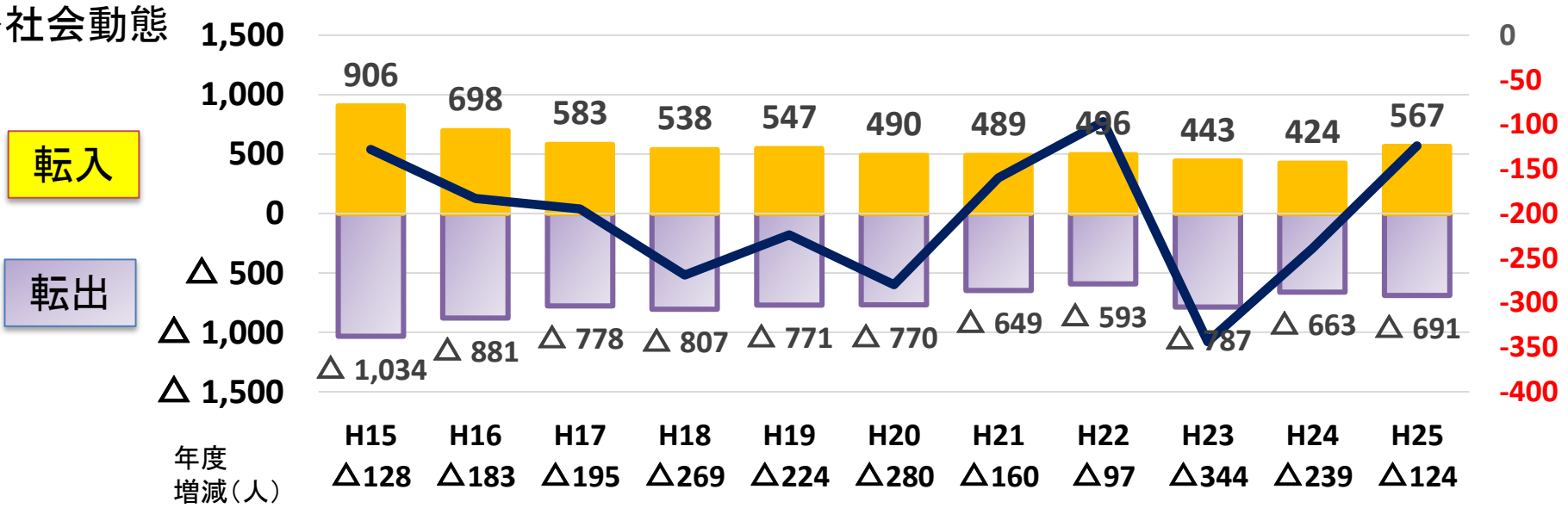


養父市の人口動態について

●自然動態



◆社会動態



出典：住民基本台帳

養父市が抱える問題

養父市の抱える問題
（人口減少、少子・高齢化による影響）

- ○　地域コミュニティの衰退
- ○　公共交通・公共施設・医療機関の存続危機
- ○　地域経済の縮小に伴う雇用の喪失
- ○　生活関連事業の衰退
- ○　地域文化の喪失
- ○　地域の活力が失われることによる「負のスパイラル」

　など・・。

養父市の対応

養父市の抱える問題
（人口減少、少子・高齢化による影響）

これら諸問題への対応

第2次　養父市総合計画

響きあう心　世界へ拓く　結の郷　やぶ
～学びと交流と居住のまち～

市政テーマ

地域の新たな生命を育むまち
～産業を育み、人を育む～

地方創生の視点で各種施策の展開

養父市第2次総合計画（H23～H32）

響きあう心　世界へ拓く　結の郷　やぶ
～学びと交流と居住のまち～

1 「生きる力」を生涯学ぶまち
・0歳からの一貫した教育環境づくり
・生涯学習・次世代育成の環境づくり　など

2 人と自然と文化を活かし多くの人が訪れるまち
・文化・芸術の継承と育成
・交流・観光の振興　など

3 赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせるまち
・子育てがしやすい環境づくり
・定住のための居住環境づくり　など

4 意欲をもって働き、未来を拓くまち
・地域特性を活かした産業の創出・育成
・新規参入や後継が可能な農林業の仕組みづくり　など

5 互いに協力し、支えあうまち
・コミュニティ活動の促進
・男女共同参画社会の促進　など

将来人口
26,000人

市民規模
30,000人

養父市「まち・ひと・しごと・ふるさと創生」について

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生が目指すもの

地域の新たな生命を育むまち～産業を育み、人を育む～

- 安心して暮らしやすいまちを創り、いつまでも住み続けたいまち
- U・Iターン者など人材を受け入れる環境が整ったまち
- 若い世代が安心して結婚・出産・子育て出来る環境が整ったまち
- 安定した雇用を創出できるまち

総合計画に基づき、基本計画等との整合性を考慮しつつ、限られた資金等の中で人口及び地域経済に関する課題を解決するため、**施策の優先順位を明確**にする必要がある。

養父市創生総合戦略の策定

養父市創生総合戦略とは養父市総合計画の「雇用・労働」や「少子化対策」等について強化したもの

養父市人口ビジョン（将来人口推計）

人口の現状分析

- 人口動向分析
- 将来人口の推計と分析
- 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

人口の将来展望

- 将来展望に必要な調査・分析
- 目指すべき将来の方向
- 人口の将来展望

養父市創生総合戦略のイメージ

Ⅰ 基本目標

① 安定した雇用の創出
② 新しい人の流れをつくる
③ 若い世代の結婚・出産・子育てへのサポート
④ 安心・安全な暮らしを守る

Ⅱ 基本的方向性

Ⅲ 具体的施策

・重要業績評価指標(KPI)の設定
・PDCAサイクルの確立

養父市創生総合戦略策定における推進体制

市民意見の聴取等（案）

① タウンミーティングの実施
② 市民アンケートの実施　　（無作為抽出、子育て世代、高校生、企業等）
③ 聞き取り調査
④ その他

養父市人口ビジョン

（人口の現状分析・将来展望）

作戦会議（戦略策定委員会）

設置目的
養父市創生総合戦略の素案を作成する。

委員構成（20名程度）
・市民代表　・関係団体　・学識経験者　等

内容
・数回の会議開催により将来人口予想に対応する施策を選定
・市役所各部局との意見交換

調整・策定

市役所

（養父市創生本部等）

① 事業の見直し（選択と集中）
② 関係機関との協議・調整
③ 作戦会議への施策提案
④ 予算の編成・執行
⑤ 施策の見直し

市民の皆様からお聞きしたいテーマ

1. Uターン・Iターンなど人材の誘致・受け入れについて

2. しごとの創出について
（農林業、商工業、観光業、医療・健康福祉産業など）

3. 若い世代の結婚・出産・子育てについて

4. 安心して住み続けたいと思えるまちづくりについて

5. 誇りを持てる養父市について（ふるさと意識の醸成）

6. 交流人口を増やす方策について